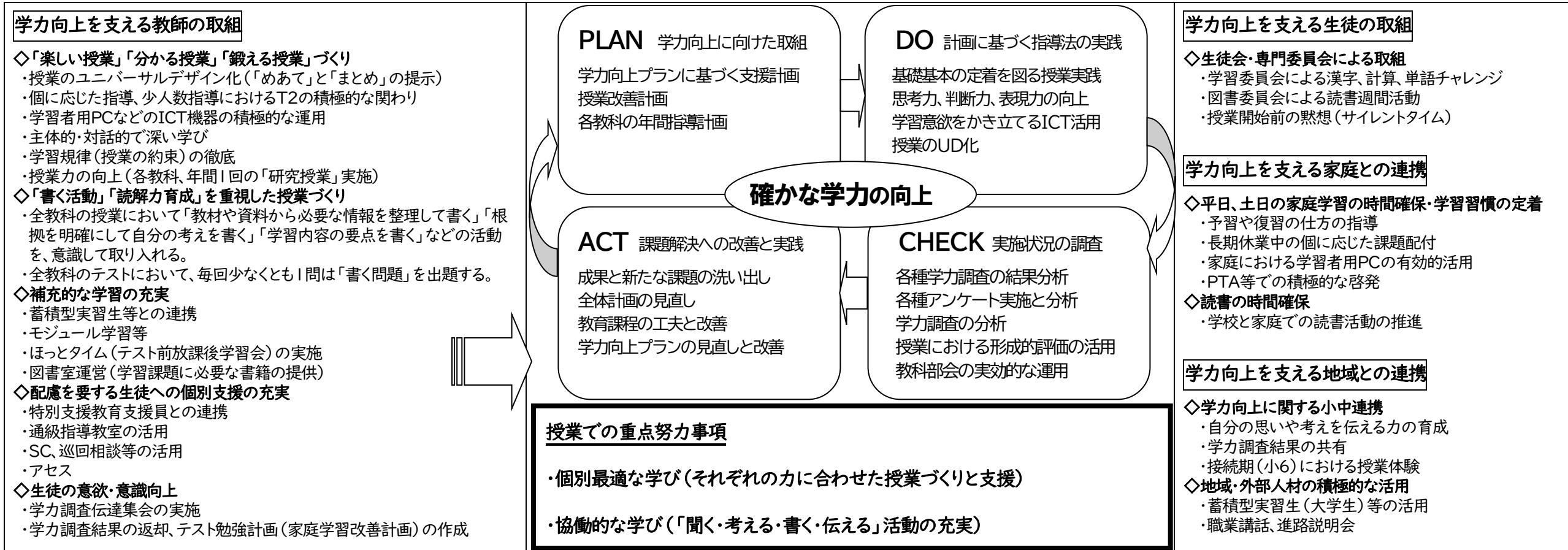


令和6年度「チームYAMAZATO」学力向上プラン

学校教育目標 知性と社会性に富み、心豊かで、たくましく生き抜く生徒を育てる

学校スローガン 認め合い、支え合い…そして前へ
～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

「学びの習慣化メソッド」「学力向上プラン」「学力向上カレンダー」に基づいた計画的な取組～継続・徹底～



諸調査等の結果から（本校の抱える課題）

数値目標

令和6年度全国質問紙調査から見られる課題	□国語科 【1年生】文法やことわざが定着していない様子がある。また、無回答率が高く、「書く」領域の指導が必要。 【2年生】資料を読み取って、「自分の考えを書く」という問題で無解答が多かった。 【3年生】表現する活動、交流する活動において苦手意識を抱いている。特に、「書くこと」「読むこと」については、一定数の割合で無回答の生徒がいる。	□令和7年度全国学力・学習状況調査 平均正答率が全国平均・長崎県平均を100%上回る。 △全校意識調査（令和6年度9月→令和7年度9月） 「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」に対する肯定的な回答が全国と長崎県の数値を上回る。
	□数学科 【1年生】すぐに答えが出ない問題に対して、粘り強く考える力をつける必要がある。 【2年生】思考・判断・表現の観点から、記述式の問題において、改善が必要である。 【3年生】基礎・基本で抜け落ちている部分がある。文章を読むことが苦手である。 □英語科 【3年生】必要な情報を読み取る力が低い傾向にある。	△全校意識調査（令和6年度9月→令和7年度9月） 平日平均1時間以上家庭学習をしている（学習塾を含む）生徒が、全体の65%以上になることを目指す。